



保証書付

コンパクト洗面器

品番
YL-A531SYE*
YL-A531M*
YL-A531T*

※品番末尾に「V」が付くタイプはカウンタータイプになります。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

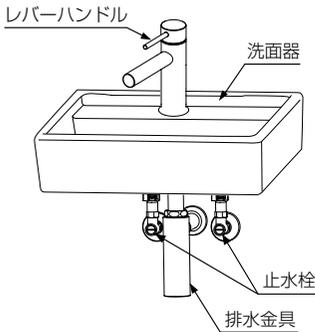
この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

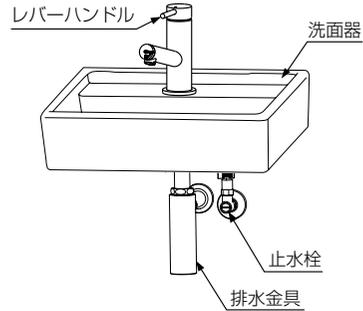
各部の名称・特徴	2
安全上のご注意	3
ご使用前に	9
ご使用方法	10
お手入れ方法	12
冬期凍結の恐れがある場合	18
修理を依頼される前に	20
アフターサービスについて	22
保証書	裏表紙

●各部の名称・特徴

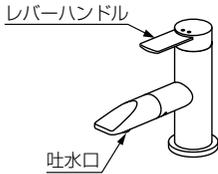
【シングルレバー混合水栓】



【シングルレバー単水栓】



【吐水口回転式シングルレバー混合水栓】



- レバーハンドルひとつで吐出量と温度（混合水栓のみ）が簡単に調節でき、節水効果があります。
- エコダイヤル操作であらかじめ適量調節ができます。レバーハンドルを上げても出し過ぎることがなく、最大約 50%節水できます。
（エコダイヤル付き単水栓の場合）
- バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。
- レバーハンドルが使い易い正面位置にあるとき水になるので、無意識での湯の使用や無駄な給湯器の着火を抑制できます。（シングルレバー混合水栓の場合）

●安全上のご注意(お使いになる前に必ずお読みください。)

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



「注意しなさい！」(上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)



分解禁止

「分解してはいけません！」



接触禁止

「指示した場所に触れてはいけません！」



指示実行

「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

警告

修理技術者以外の方は、水栓を分解したり、取扱説明書に記載された事項以外では、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※破損し、ケガをする恐れがあります。



分解禁止

小さいお子さまだけの使用は避けてください。

※ヤケドやケガをする恐れがあります。



禁止

他所の水栓の同時使用などにより圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがありますので注意してください。

※同時使用の際に充分注意しないとヤケドをする恐れがあります。



指示実行

 **注意**

水道水および飲料可能な井戸水以外は使用しないでください。

※内部の腐食により、破損や漏れ、故障の原因となります。



禁止

使い始めの水は飲用しないでください。

※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。



禁止

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態での使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼をしてください。

※落下したり破損部位でケガをする恐れがあります。



禁止

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃を与えたり、硬いものをぶついたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。

※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。



禁止

カウンターや洗面器の上に乗ったり重いものを載せたりしないでください。

※変形や破損してケガをする恐れがあります。



禁止

吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。

※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。



禁止

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。

※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。



禁止

陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。

※破損部でケガをする恐れがあります。



禁止

陶器にひびが入ったままで使用しないでください。

※陶器が割れてケガをする恐れがあります。



禁止

ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しないでください。

※サビが取れなくなる恐れがあります。



禁止

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取り外しなどの改造はしないでください。

※商品の性能を損ない、ケガをしたり、水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意

洗面器に熱湯を注がないでください。

※洗面器が破損してケガをしたり、水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



水栓側のワイヤーを無理に折ったりしないでください。

最小曲げR(R>40)を確保してください。

※ワイヤーが折れて、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。



排水栓が上がっている状態で、排水栓に衝撃を与えたり、無理に引っ張ったり、押し込んだりしないでください。

※部品が破損して、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。



水が洗面器内に残っているうちにレバーハンドルのON、OFF操作をくり返さないでください。

※洗面器の外へ水が飛び出て、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



寒冷地用の場合、水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。

※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



解氷機（凍結した水道管などに電流を流して解凍する装置）を使用する場合、水栓には通電しないでください。

※水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



キャビネット内の物を出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けるなどホースに無理な力が加わらないようにしてください。

※ホースに無理な力が加わり、給水・給湯ホースの外れや破損による漏水の原因になります。



陶器のお手入れには次の洗剤を使用しないでください。

- 強いアルカリ性洗剤、フッ素系洗剤、研磨剤入りの洗剤
※陶器表面を傷つけてしまいます。
- 撥水作用や表面コート作用のある洗剤、お掃除道具
※陶器表面を成分が覆ってしまい防汚性能が発揮できなくなります。



⚠ 注意

毎朝ご使用になる前に、約10秒間水を流してください。

※水道水が水道管の中に長い時間滞留していると、使用している水道管の種類にもよりますが、水道水に臭いが付くことがあります。また、長時間水道を使用しないと、水道水中の残留塩素が無くなる場合があり、不衛生です。



指示実行

レバーハンドル、開閉ハンドル、切替ハンドルを操作するときは、ゆっくり動かしてください。

※急に操作すると音が出ることがあります。

※急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管の損傷などによる漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

レバーハンドルを操作するときは、レバーを持って操作してください。

※レバー以外をつかんで操作すると、故障の原因になります。



指示実行

排水栓を上下する操作は、水栓後ろの取っ手で操作してください。

※無理に排水栓を操作すると、故障の原因になります。



指示実行

ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。

※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



指示実行

【LF-X340SRCタイプの場合】

吐水口は360°回転します。下向きのまましばらく水を流してから止水し、吐水口を上向きに回転させてお使いください。

※高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。

※水栓内に停滞した温度の湯が出て、ヤケドする恐れがあります。



指示実行

【LF-X340SRCタイプの場合】

上向き吐水でお使いの後は、必ず吐水口を下向きに戻してください。

※次に使用される方が吐水口が上向きのまま開栓すると、高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



指示実行

【LF-X340SRCタイプの場合】

吐水口は360°回転します。吐水口の回転は、レバーハンドルを閉めた状態で行ってください。

※レバーハンドルを開けたまま回転させると、袖口などを濡らす恐れがあります。



指示実行

注意

給湯温度は85℃以上では使用しないでください。

※85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなり、破損してヤケドをする恐れがあります。

なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。



高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。

※次に使用するとき水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にして閉めてください。

※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って洗面器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

※排水管が詰まり排水があふれる恐れがあります。



化粧品・除光液・うがい薬などが付着したらすぐにふき取ってください。

※除光液、クレンジング材、口紅などの化粧品、整髪料、毛染材、脱色剤、うがい薬、シャンプー、リンス、芳香剤、漂白剤、洗剤など付着した汚れによっては、お湯が必要な場合があります。その場合は中性洗剤でこまめに清掃してください。



メッキ面のハガレはそのまま放置せずに、修理依頼をしてください。

※はがれたメッキやキズでケガをする恐れがあります。修理依頼はお買い求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。



給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。

※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。(P.18参照)

※変形したり故障して、漏水の原因となります。

※凍結による破損は、保証期間内であっても有料修理となります。



凍結の恐れがある場合は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。

※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。



⚠ 注意

凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。
(P.18、19参照)

※部品が破損し、水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

陶器は、割れ物です。

施工後に施工段階での損傷がないことを確かめてください。

※破損部でケガをしたり、漏水により家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

オーバーフロー穴はありません。あふれ防止のため、吐水中はその場を離れないでください。

※漏水により家財などを濡らす財産損害の恐れがあります。



指示実行

排水口カバーのお手入れの際に、洗面器やカウンター及び床などに落とさないようにしてください。

※落下の衝撃で陶器が割れたり、排水口カバーが変形するなどの恐れがあります。



指示実行

定期的（年2回）に、配管回り（キャビネット・点検口内など）の水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉めてください。

※水漏れなど予想しない事故の原因になります。



指示実行

床に落ちた水や洗剤などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取ってください。

※放置しておくくと床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。



指示実行

高温の湯をお使いのときには、吐水口、台座、引き棒、ホース、エコダイヤル付近は高温になっています。直接、肌を触れたり、エコダイヤルを操作しないようにしてください。

※ヤケドをする恐れがあります。



接触禁止

水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。

※ヤケドをする恐れがあります。



接触禁止

●ご使用前に

■給湯機器と組み合わせてご使用の場合

安全のため給湯機器の設定温度は60℃以下にしてご使用ください。

※不意に熱い湯が出てヤケドをするおそれがあります。

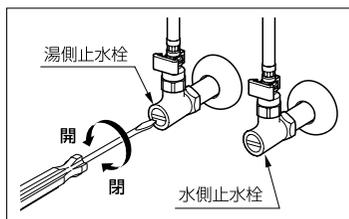
【ガス給湯器をご使用の場合】

- 少ない水量で使用すると、給湯器の運転に必要な流量に満たず、給湯器が点火しない場合があります。このときは、止水栓もしくは水栓のハンドルを開き、流量を増やしてください。
- 水温が高いときは、給湯器が点火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度を少し上げてお試しください（夏は水温が高く、冬は水温が低くなります）。

■流量の調節

水圧が高いところで使用される場合は水側の止水栓を絞ってご使用ください。湯と水の吐出がほぼ同じになるように水の量を絞ってください。

※流量を変更したい場合は止水栓を調節してください。



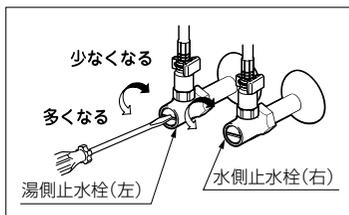
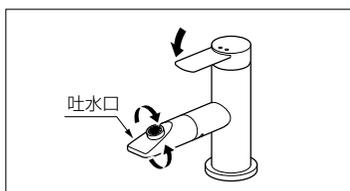
使用前に

【吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合】

●流量が少ない場合

1. レバーハンドルを締め、吐水口を上向きに回転させる。
2. レバーハンドルを水側の位置で全開にする。
3. 水側の止水栓をゆっくり開き、吐水高さが50～100mmになるように調節する。
4. レバーハンドルを閉じ、吐水口を下向きに回転させる。
5. レバーハンドルを湯側の位置で全開にし、湯側の止水栓をゆっくり開き、水側と同じ流量になるように調節する。
6. レバーハンドルを中央の位置でゆっくり全開にし、吐水高さが120mm以下であることを確認する。

※止水栓を全開にしても吐水高さが50mmに満たない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。



ポイント

吐水高さの調節には、この説明書と同梱の「流量調節タグ」をご利用いただくと便利です。



●流量が多い場合

1. 水側、湯側の止水栓を閉じる。
2. ●流量が少ない場合の1.～6.を行う。

注意

- 必ず吐水高さが120mm以下になるように、止水栓で調節してください。
※洗面器の外へ水が飛び出します。



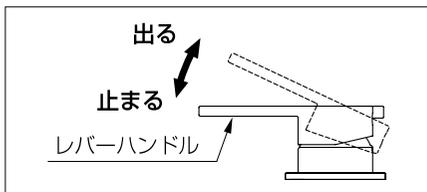
●ご使用方法

■吐水量の調節

- レバーハンドルを上げると吐水し、上げ具合で吐水量を調節できます。レバーハンドルはどの位置でも下げると止水します。

※レバーハンドルはゆっくり操作してください。水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が発生する場合があります。

※レバーハンドルの操作が、使い初めより重くなる場合があります。ご使用いただくうちに（0～6ヵ月程度）内部の部品がなじむ現象で、故障ではありません。

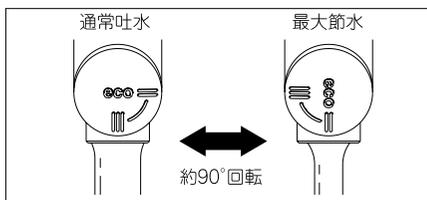


【シングルレバー単水栓の場合】

■エコダイヤルの操作

エコダイヤルを右方向に回すと吐水量が減り（節水）、左に回すと通常の吐水量になります。

※エコダイヤルの操作角度は約90°です。



【シングルレバー混合水栓、シングルレバー混合水栓（吐水口引出し式）の場合】

■お湯の温度調節

- レバーハンドルが使いやすい正面位置で水になるので、無意識での湯の使用や、無駄な給湯器の着火を抑制できます。左方向へ回すと吐水温度が上がります。

ポイント

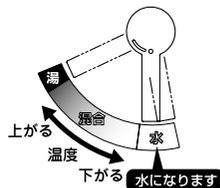
湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

クリックより左側では湯が出ています。



注意

- 必ずレバーを持って操作してください。※レバー以外をつかんで操作するとケガをする恐れがあります。



【吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合】

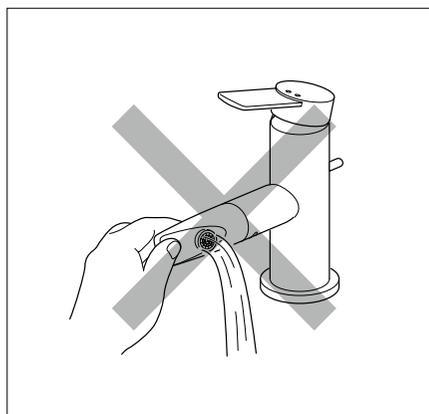
- 吐水口は360°回転します。
- 吐水口は上向きまたは下向きでご使用ください。
- ※洗面器の外への水の飛び出しを防ぐ為に、横向きでは流量が減ります。



下向きでは手洗いなど通常使用ができます。

上向きではうがいや歯磨きに便利です。

- 吐水口の回転は、レバーハンドルを閉めた状態で行なってください。
 - ※レバーハンドルを開けたまま回転させると、袖口等を濡らす恐れがあります。
 - ※レバーハンドルを空けた状態では、吐水口の回転操作が重く感じる場合があります。
- 上向き吐水でお使いの後は、必ず吐水口を下向きに戻してください。
 - ※吐水口を上向きのまま開栓すると、高温の湯が出てやけどする恐れがあります。
- 上向き吐水でお使いの際は、下向きのまましばらく水を流してから止水し、吐水口を上向きに回転させてお使いください。
 - ※高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。
 - ※水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドする恐れがあります。



●お手入れ方法

日常のお手入れ

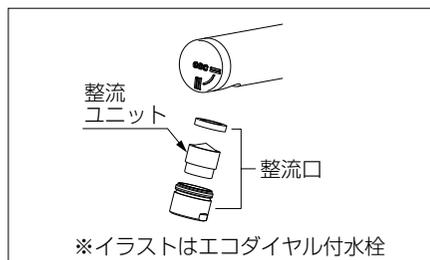
いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

■水栓金具

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。
 - お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないようから拭きしてください。
 - 商品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - ・クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
 - ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
 - ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
 - ・シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。
- 壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。
 - 吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

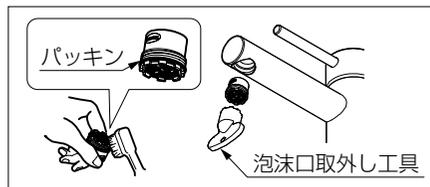
【シングルレバー単水栓の場合】

- 整流口を工具（スパナ（対辺17））で取り外し、整流ユニットを水で掃除してください。
※整流口の取外しは直接工具を掛けますと、整流口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。



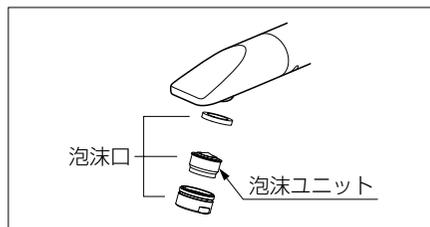
【シングルレバー混合水栓の場合】

- 泡沫口を専用工具で取外し水で掃除してください。



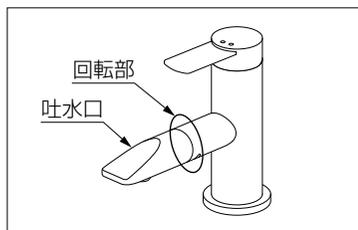
【吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合】

- 泡沫口を工具（スパナ（対辺19））で取り外し、泡沫ユニットを水で掃除してください。
※泡沫口の取外しは直接工具を掛けますと、泡沫口をキズつける場合があります。必ず、布などを当てて工具を掛けてください。



- 吐水口を汚れたまま放置すると、回転部に付着したゴミなどにより、回りにくくなる場合があります。

ときどき水で掃除してください。



■洗面器

- 品番の最初に「Y」が付いている洗面器はアクアセラミック仕様です。

(例：YL-XXXX)

ハイパーセラミック仕様の洗面器は「Y」はありません。(例：L-XXXX)

お掃除はアクアセラミック仕様同様のお手入れをしてください。

- アクアセラミック仕様の場合

アクアセラミックは親水性が高く、鉢面に付着した汚れが落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。陶器表面に汚れが残ってしまう場合があります。定期的なお掃除をお願いします。

- 次の洗剤、道具は使用しないでください。

- ・強いアルカリ性の洗剤または漂白剤、フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）

※陶器表面が侵され、アクアセラミックの機能が損なわれます。

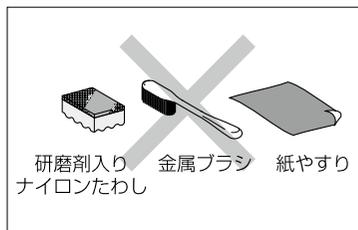
- ・金属製のブラシや研磨剤入りの洗剤、お掃除道具

※陶器表面が侵され、アクアセラミックの機能が損なわれます。

- ・撥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具

※成分に陶器表面が覆われてしまい、アクアセラミックの効果が発揮できなくなります。

使用によって撥水してしまった場合は、メラミンスポンジや食器用中性洗剤で掃除することにより効果を復元できます。



●KILAMIC抗菌商品についての注意

- KILAMIC抗菌商品は、表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の動きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。

したがって感染などが防げるわけではありません。

- 抗菌製品技術協会の抗菌製品規格SIAAに適合した商品です。

KILAMIC抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌JIS規格（JISZ2801）からISO規格（ISO22196）になりました。

■排水トラップ、排水口カバーのお手入れ

洗面器、手洗器の水はけが悪くなった際は、市販の排水管洗浄剤（中性または弱アルカリ性）でお手入れしてください。

※お手入れ後は洗浄剤が中に残らないよう、水で十分洗い流してください。

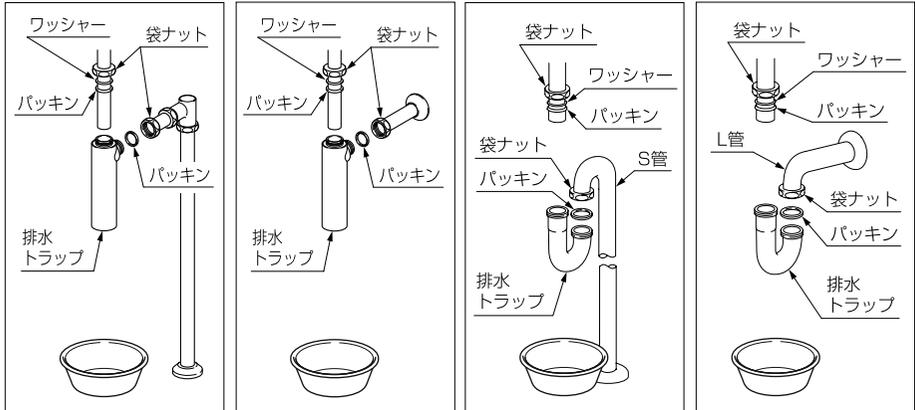
⚠注意

手洗器に酸性・アルカリ性の洗剤や薬品、油類を流さない。

※手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などを濡らす物的損害発生の原因になります。



排水管洗浄剤を使用しても水はけが良くならない場合は、下記手順で排水トラップの掃除をしてください。



- (1) 排水トラップの真下に配管内の封水を受ける容器を置きます。
- (2) 袋ナットをゆるめて排水トラップを取り外し、ゴミを取り除きます。
- (3) 排水管の掃除を行った後、再度ナット部をモーターレンチ等で締め付けます。
 ※パッキンの入れ忘れがないように注意してください。漏水の原因となります。
 ※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっていますので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。
 ※袋ナットはモーターレンチ等でしっかり締め付けます。締め付けがゆるいと、漏水やトラップの脱落の恐れがあります。
- (4) 一度水栓から水を流し、排水管から水が漏れていないことを確認します。

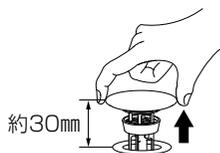
注意

上記確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくる場合があります。お手入れ後は必ず水を流して確認してください。

- (5) 排水口カバーのストレーナーにたまったゴミは取り除いてください。

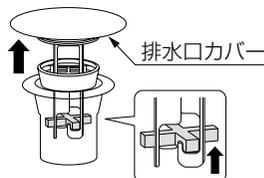
- 排水口などを清掃する際は、排水口カバーを上を持ち上げて
ください。

※排水口カバーは約30mm程度持ち上げできます。



【取り外して清掃する場合】

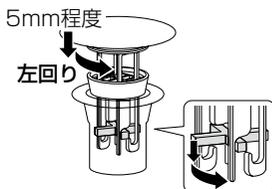
1. 排水口カバーが止まるまで引き上げます。



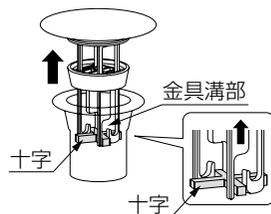
2. 少しだけ下に戻し、排水口カバーを左回りにゆっくりと回転させます。

注意

排水口カバーに無理な力を加えないでください。

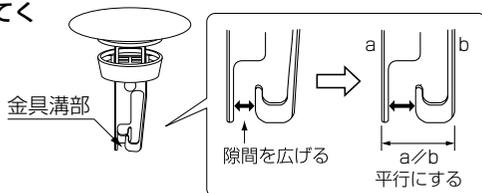


3. 上に引き上げると、金具溝部が排水金具の十字から抜けて外れます。



4. 清掃後、上記取付け方で排水口カバーを取付けてください。

※万一外しにくくなった場合は、ラジオペンチ等を使って金具の溝を広げてください。



■床のお手入れ

- 使用時やお掃除の際、床に落ちた水や洗剤などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取ってください。

※放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりする恐れがあります。

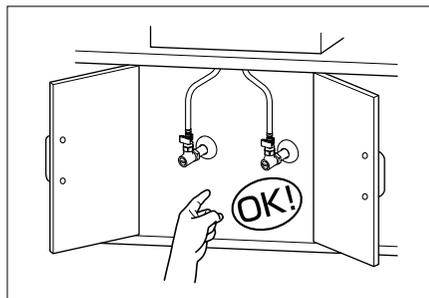
定期的なお手入れ

■配管まわりの水漏れ（年2回）

配管まわりの水漏れがないか確認してください。

●劣化・磨耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家具などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。

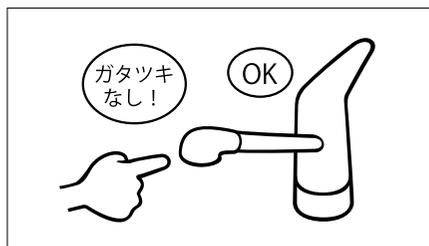
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取扱店・販売店またはLIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。



■水栓本体のガタツキ（年2回）

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

●水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



■定期的な部品交換のお願い

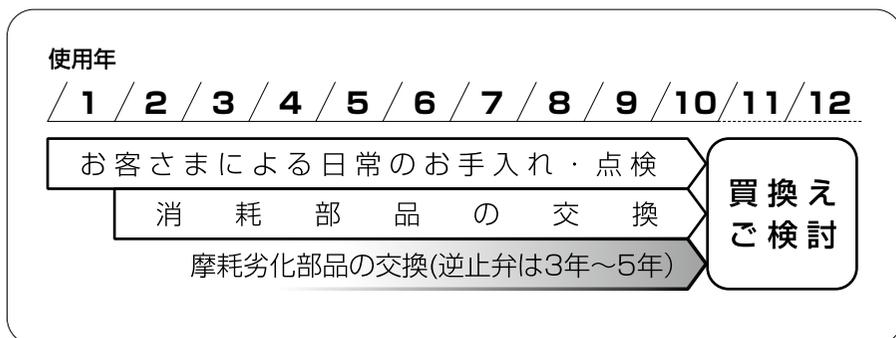
安全・快適にご使用いただくため、定期的な部品交換が必要です。お買い求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

※部品交換の際は、商品状況により摩耗個所以外の部品交換も必要な場合があります。

●摩耗劣化する部品の交換

- 部品が摩耗・劣化すると、漏水などの原因となるため交換が必要です。
※保証期間外の各部品交換は、有料になります。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例) 逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジなど）、パッキンなど

「定期的な点検・部品交換のめやす」



●冬期凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。
また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

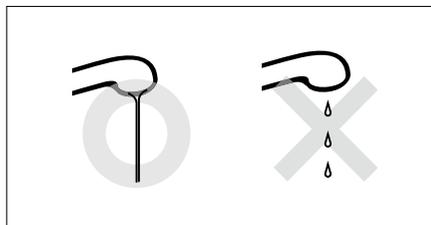
■凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

(一般地用をご使用の場合)

凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
 - ※混合水栓の場合、レバーは混合位置にしてください。給湯器を着火させる必要はありません。
- 配管などに保温材を巻く。



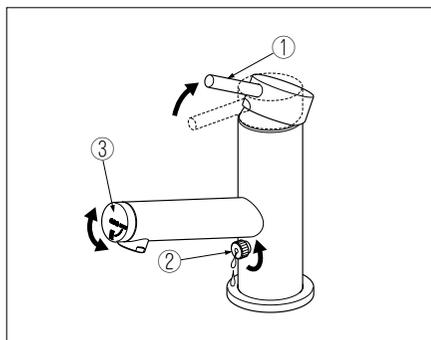
(寒冷地用をご使用の場合)

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

【シングルレバー単水栓の場合】

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドル①を上げる。
3. 水抜栓②を開ける。
4. エコダイヤル③を2～3回左右に回す。(エコダイヤル付水栓の場合のみ)
5. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉める。

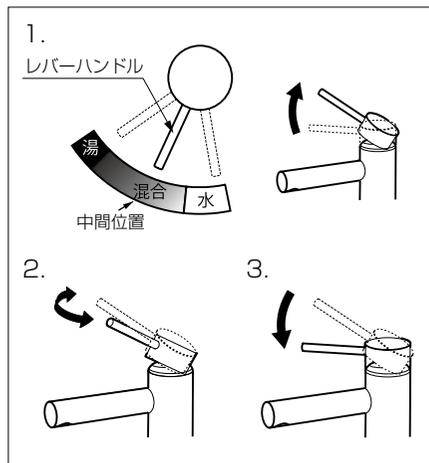
- ※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。
- ※再通水前には水抜栓②を閉めてください。



【シングルレバー混合水栓の場合】

1. レバーハンドルを湯と水の間位置にしていっぱいまで上げる。
2. レバーハンドルをいっぱいまで上げた状態で数回、水側から湯側までまわす。
3. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを下げる。

※レバーハンドルを上げたまま放置すると、凍結して下げられなくなることがあります。その場合は無理な操作をしないでレバーハンドルを上げたまま自然解凍してください。



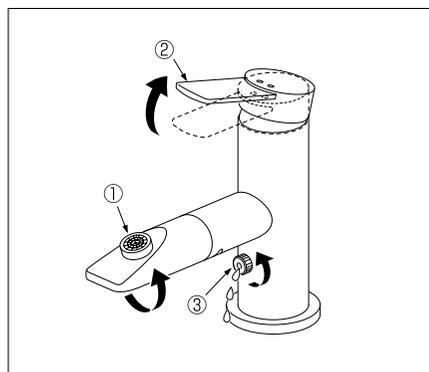
【吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合】

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. 吐水口の先端①を上向きにする。
3. レバーハンドル②を中央位置に合わせ全開にする。
4. 水抜栓③を開ける。
5. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル②を閉める。吐水口先端を下向きにする。

※レバーハンドル②を開けたまま放置すると、閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※再通水前には水抜栓③を閉めてください。

※吐水口先端①を上向きのまま放置すると、下向きにできなくなる場合があります。自然解凍後下向きにし、通水してください。



●修理を依頼される前に

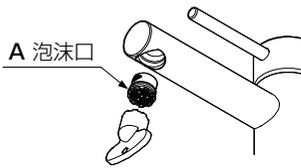
簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現象	確認内容	処置	点検箇所	参照ページ	
水栓	吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く	—	P.9
		レバーハンドルは閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける	B	P.10
		断水中ではありませんか？	回復するまで待つ	—	—
	流量が少ない	止水栓の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	—	P.9
		整流口、泡沫ユニットにゴミなどが付着していませんか？	整流口、泡沫ユニットの掃除をする	A	P.12、13
		レバーハンドル絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを開ける	B	P.10
		エコダイヤルが節水状態になっていませんか？（エコダイヤル付単水栓の場合のみ）	エコダイヤルを通常吐水に設定する	C	P.10
		吐水口は横を向いていませんか？	吐水口は上向きまたは下向きで使用する	—	P.10
	能力切替付の給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする	—	—	
	流量が多い	止水栓の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	—	P.9
	吐水が乱れる	整流口、泡沫ユニットにゴミなどが付着していませんか？	整流口、泡沫ユニットの掃除をする	A	P.12、13
	水を止めた後に、少しの間水が垂れる	整流口、泡沫ユニットの内部にたまった少量の水が排出されるため、故障ではありません		—	—
	水が止まらない	整流口、泡沫ユニットにゴミなどが付着していませんか？	整流口、泡沫ユニットの掃除をする	A	P.12、13
		上記処置で故障が直らない場合は、取扱店または LIXIL 修理受付センターへご相談ください。		—	—
	ハンドルが右側に回らない	レバーハンドルの操作位置は正しいですか？	レバーハンドルを確認する	B	P.10
	希望の温度が得られない	整流口、泡沫ユニットにゴミなどが付着していませんか？	整流口、泡沫ユニットの掃除をする	A	P.12、13
		レバーハンドルの操作位置は正しいですか？	レバーハンドルを確認する	B	P.10
		湯側・水側の止水栓の調節は適正ですか？（シングルレバー混合水栓、吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合）	止水栓で流量を調節する	—	P.9
給湯機器から十分なお湯がきていますか？		給湯機器の設定温度を確認する	—	—	
他所で同時に水栓を使用していませんか？		使用時には、他所の水栓を同時に使用しないようにする	—	—	
整流口、泡沫ユニットにゴミなどが付着していませんか？		整流口、泡沫ユニットの掃除をする	A	P.12、13	
異音がる	レバーハンドルを急閉止していませんか？	ウォーターハンマー現象と思われる（流量が多いときに急に止水すると発生） 止水栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを閉める	—	—	
	止水栓の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	—	P.9	
整流・泡沫キャップより水が漏れる	整流・泡沫キャップのゆるみはないか？	整流・泡沫キャップをしっかりと締める。	—	—	

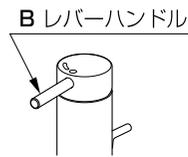
修理を依頼される前に

現象		確認内容	処置	点検箇所	参照ページ
排水口排水管	排水しない あるいは排水が スムーズでない	排水口の目皿がゴミなどで詰まっていますか？	目皿の掃除をする	—	—
		排水管・ポトルトラップがゴミなどで詰まっていますか？	排水管・ポトルトラップの掃除をする	—	P.14
	漏水する	接続部の袋ナットがゆるんでいますか？	袋ナットを増締めする	—	P.14

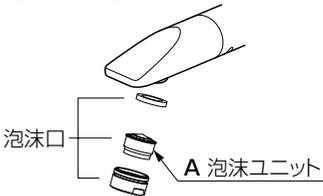
(シングルレバー混合水栓の場合)



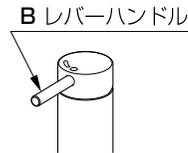
(シングルレバー混合水栓の場合)



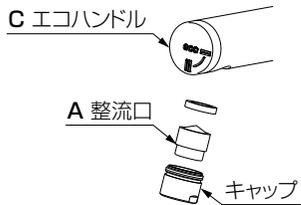
(吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合)



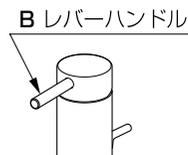
(吐水口回転式シングルレバー混合水栓の場合)



(シングルレバー単水栓の場合)



(シングルレバー単水栓の場合)



※イラストはエコダイヤル付水栓

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。

修理を依頼される前に

●アフターサービスについて

■修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」のページ（P.20、P.21）を参照してください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、取扱説明書に記載された事項以外では、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

※ケガをする恐れがあります。



分解禁止

■定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの。
- 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの。

■保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付日より2ケ年です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または、保証書に記載のLIXIL修理受付センター（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- ・修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- ・“技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番
 - ・洗面器に品番が記載されています。
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

■部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低6年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

■アフターサービス等についておわかりにならないとき

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客様相談センターへ

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけません。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

《修理のご依頼は》

お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00～19:00 **365日受付**

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：コンパクト洗面器 (品番：)	
保証期間	取付日
取付日より2ヶ年	年 月 日
おなまえ	取扱店名
おとこ	無効
おでんわ	
()	()

お客さまへ 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破壊や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品（パッキン、ヒューズ、電池等）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう。）
 - 寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・

PHS・IP電話などではご利用

できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの

修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

■お電話でも修理を承ります

受付時間／9:00～19:00

365日受付

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>